市政あれこれ

旧グラバー住宅がリニューアルオープン!

家族や知人が集う部屋も当時の姿にリニューアル

現存する日本最古の木造洋風建築で世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の一つでもある「旧グラバー住宅」の保存修理工事が終わり、11月18日から内部を一般公開しました。

耐震補強のほか、当時グラバーに宛てられた手紙など、最新の史料研究に基づき、「史実」にこだわって室内を再現しました。また、AR(拡張現実)機能を使ってグラバーの家族や建物の内部構造などを紹介するコーナーも新たに設けました。

■問い合わせ　観光政策課(☎829-1152)

「世界新三大夜景」再認定

長崎では、稲佐山などいろんな場所で夜景を楽しめます

11月19日に国内外の観光関係者が集い出島メッセ長崎で開催された「世界夜景サミットin長崎」で、長崎市がモナコ、上海とともに「世界新三大夜景」に選ばれました。複数の場所から観賞できることやアクセス面、関係機関や団体の夜景観光への取り組みなどを基に投票で選ばれたもので、長崎市とモナコは2012年の前回のサミットに続いての認定でした。

認定に対し、田上市長は「質が高く長崎らしい夜景を提供できるよう、これからも努力したい」と語りました。

■問い合わせ　観光政策課(☎829-1152)

開港5都市景観まちづくり会議

5都市の取り組みについて活発な意見交換が行われました

11月20日から22日の3日間、安政5年(1858年)に日本最初の開港地となった5都市(函館、新潟、横浜、神戸、長崎)の市民が長崎に集まり、景観まちづくりに関する意見交換や交流を行いました。

「ポストコロナ時代の『港』を生かしたまちづくり～歴史・つながり・未来～」をテーマに、出島メッセ長崎でシンポジウムや各都市の活動報告などを開催したほか、市内各地でまちあるきや交流企画などを開催しました。

■問い合わせ　景観推進室(☎829-1177)

DEJIMABASEが地域づくり表彰

11月13日に出島メッセ長崎で表彰式が開催されました

国土交通省が主催する「地域づくり表彰」において、長崎市の市民団体「DEJIMABASE(デジマベース)」(代表:江口忠宏氏)が、地域づくり表彰審査会特別賞を受賞しました。

DEJIMABASEは、出島エリアで雑巾を市民に貸し出し出島表門橋を拭く「はしふき」を行っているほか、出島表門橋公園でのイベント開催のサポートなどを行っています。こうした活動により、新たな交流を生み、地区への関心を高めた点が評価されました。

■問い合わせ　中央地域センター(☎829-1418)